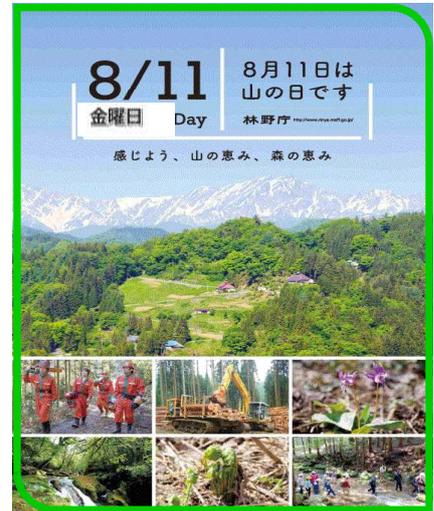


かざね
四万十の風音

しんせん
森&川だより



西土佐中学生の職場体験学習

4月12日～14日の3日間にかけて、西土佐中学校三年生の職場体験学習が実施され、当センターでは1名の生徒を受け入れました。

西土佐中学校では、例年「総合的な学習の時間における職場体験学習」を実施しており、今回で19年目になるとのことです。

職場で仕事を体験することで、学校では得ることの出来ない貴重な体験や働くということの大変さや喜びを感じると共に、進路について考えることが目的です。

1日目は、黒尊山国有林において、シカ捕獲の準備作業として囲いワナ1基毎に設置者や捕獲許可番号等を記載した看板、注意喚起のための標識等を結束バンドで取り付ける作業を行いました。

2日目は、木工教室等で使用する材料が必要なことから、小郷辻峠山国有林で森林作業道開設のため支障木として伐採されたサクラの枝を採取に行きました。

3日目には、黒尊山国有林において、初めにドローンを仕事で使っていることを説明して、ドローンの操作体験をしてもらいました。

その後、シカ食害防止のために被覆しているヘキサチューブが広葉樹の成長により圧迫し、逆に成長を阻害し始めたものを取り外し、ラス巻き（木の幹に網を巻くこと。）に切り替える作業を行いました。

わずか3日間という短い期間でしたが、それぞれの仕事を行うこと目的、方法を理解して作業を行ってもらいました。

生徒さんからは、「自然が好きなので、自然と関われる仕事は楽しかった。将来このような仕事に就きたいです。」といった感想が聞かれました。将来一緒に仕事できることを楽しみにしています。



シカ囲いワナに標識設置作業の様子



自動撮影カメラの設置作業の様子



ラス巻き作業の様子



木工教室用材料の運搬作業の様子

滑床山開きで森林・木工教室



4月26日、足摺宇和海国立公園の滑床溪谷で、松野町等が主催する恒例の滑床山開きの神事が行われました。

この山開きには、地元の松野南小学校の全校児童6名が目黒緑の少年隊として出席しており、毎年、神事の後に森林教室や木工教室を行っています。

今年は、あいにく冷たい雨となったことから、滑床アウトドアセンター様のご厚意により森林・木工教室は万年荘内で開催しました。

はじめに、パネルを使って、森林の働きと大切さについて話しました。

次に、こどもの日に飾る置物作りと題して、スギ板・ヒノキ角材を利用してのクラフト製作です。

あらかじめ「金太郎とくまとこいのぼり」のパーツを当センターで準備し、児童が、パーツをポスターカラーで思い思いの色で着色し、ボンドで角材の台座へ張り付けるといった簡単なもので、学年で差が出ないように工夫しました。

なお、宇和島ケーブルテレビからこの様子の取材を受けました。

終わりに、児童より、「置物作りはとても楽しかったです。身近な森林をこれからも大切にしていきたいと思います。」とお礼の挨拶がありました。

今回の森林・木工教室を通じ、森林の大切さや素材としての木材の良さを身近に感じてもらえたと思います。



木工クラフト完成したよ



パネルを使った森林教室の様子

滑床溪谷で森林や木に関する様々な体験学習

6月2日、愛媛県松野町立松野東小学校全校児童29名を対象に、足摺宇和海国立公園内の滑床溪谷で、森林や木に関する様々な体験学習を実施しました。

最初に、万年橋から雪輪の滝までの遊歩道沿いの樹木に樹木名板を設置しているので、順番に由来や特徴、別名などを説明し、また、ミズメの樹皮の匂いを嗅がせたり、ケヤキやヒメシャラなどの木の肌に触らせるなどの体感を通して、樹木のことを学習をしながら、滑床の自然の美しさ雄大さに触れました。

次に、万年荘前広場で、帰りの林道端で採った葉っぱを使って、ネイチャーゲームの「葉っぱジャンケン(葉っぱを使ってジャンケン遊びをすることで、葉っぱには色々な色や形・大きさなどの特徴があることに気づくゲーム。)」を行いました。次に万年荘周辺の緑地広場に移動して、同じく「ミラーハイク(手鏡の向きや高さを変えながら、また違った森の姿を発見するゲーム。)」と「木漏れ日キャッチ(画用紙を使って、植物と光と影がつくる一度限りのアートを楽しむゲーム。)」を行いました。午後からは、緑地広場で、同じく「カ

モフラージュ(生き物たちの中には、周囲の木の葉や幹と同じ色をして、敵から身を守っているものがあります。テープに沿って置いていくいくつかの人工物を探し出すゲーム)」を行いました。

次に、同じく「コウモリとガ(コウモリとガが食う食われる関係にあり、自然界の仕組みを実際に体験しながら学び遊べるゲーム)」を行いました。

最後は、万年荘前広場において、スギ板等を使用した、愛媛県のゆるキャラ「みきゃん」のストラップ製作をしました。

終わりに、児童より、「いろいろなネイチャーゲームや体験が出来て楽しかったです。なかでもカモフラージュやコウモリとガがとても楽しかったので、また学校でやってみたいです。どうもありがとうございました。美しい滑床の自然をこれからも大切にしていきたいと思います。」とお礼の挨拶がありました。また、学校からは、「普段の学校では体験できない活動を通じて、滑床の自然の美しさや森林もりの大切さを知ったとても楽しい一日となりました。」と挨拶がありました。

当センターとしても、今回の体験が児童の樹木や自然環境、森林等への興味や理解につながったものと考えます。



カモフラージュの様子



滑床溪谷の遊歩道で説明の様子



木工クラフト製作の様子



いろいろな葉っぱがあったね



中村小学校で森林教室「水はどこから、水のゆくえ」

四万十市立中村小学校より、「一年生児童に、森林の大切さを知る学習や木工教室」、「四年生児童に、水のゆくえのお話を通して森林の大切さについて教えてもらいたい。」との支援要請があり、6月12日に、第1回目として、四年生児童42名を対象にした森林教室を開催しました。

最初に、「水はどこから、水のゆくえ」について電子黒板を使って説明しました。

次に、「森林の大切な働き」の下敷きで、森林の持ついろいろな働きについて説明しました。

最後に、児童から、「お話を聞いて、これからも森林や水を大切にしたいと思いました。」と感想があり、学校からは、「四年生はちょうど防災学習をしているので、今日のお話で、森林の持つ防災などの働きや水の大切さについての理解が一層深まったと考えます。次回もよろしくお願いします。」とお礼の挨拶がありました。

当所としても学校の要請に応えることができ、身近な自然や飲料水の源である森林を大切に守って行くことが必要であることを理解してもらえ、大変有意義であったと考えています。



森林教室の様子



小筑紫小学校で年間を通した森林環境教育



宿毛市立小筑紫小学校の五年生は、平成25年度から「総合的な学習の時間」を利用して毎年度4～5回継続して森林環境教育を実施しています。

今年度も学校からの支援要請を受けて年間4回実施する予定です。この第1回目として5月23日に児童13名を対象に、森林の働きや校庭の樹木学習と樹木名板製作をしました。

最初にパネルを使って森林の働きを説明して、森林の大切さを理解してもらいました。

次に、下敷き「いろいろな木と葉っぱ」で、この後の校庭の樹木学習で観察するポイントについて簡単に説明した後、校庭に出て、樹木の幹や枝葉に触れさせ、木の肌の感触や葉や花の匂いを嗅がせるなどの体感を通して27種の樹木についての名前や特徴が理解出来るよう説明しました。その後、ヒノキの板に、ポスターカラーで科名と和名を書き、余白には、思い思いのイラストを描き、樹木名板を完成させました。

第2回目となる6月13日には、木工クラフト学習を実施しました。

最初に、材料となる「木材の特徴」について説明し、木材には優れた性質（長所）や欠点（短所）もあり、木材を上手に使う工夫をして色々な物や場所に木材を使っていると説明しました。

最後は、昆虫の壁掛け製作です。作り方を説明したのち、児童達が、クワガタムシ、カブトムシ、チョウチョ、テントウムシ等の各パーツに色をぬり、ボンドでヒノキの板に貼り付けて作品が完成しました。

なお、児童より校庭の樹木学習の後でもらった感想文には、ほとんどの児童が、「年間4回の学習で、木のこと、森林のことをもっと知りたいです。」と書いていることから、当所としても年間を通した森林環境教育を通して、児童の樹木や自然環境、森林等への興味や理解が深まることを期待しています。



樹木名板製作の様子



樹木学習の様子



児童の森林環境学習の様子



木の重さ等の実験の様子



完成した昆虫の壁掛け



昆虫の壁掛け製作の様子



ニホンジカの捕獲推進



当センターでは、高知県四万十市の黒尊山国有林周辺、愛媛県松野町の目黒山、宇和島市の滑床山国有林周辺において、大型・中型・小型の囲いワナ、合計19基を設置して、ニホンジカの捕獲に取り組んでいるところです。

そのうち、黒尊山24林班に設置していた中型の囲いワナの近接箇所、間伐事業が開始されたことにより、今後の捕獲が見込めなくなったことから、黒尊山6林班に移動しました。

今後の捕獲数の捕獲に拡大につながることを期待しています。



黒尊山6林班の中型ワナ（移動後）



黒尊山24林班の中型ワナ（移動前）



シカ防護ネット柵のメンテナンス

これまでに、自然再生地に設置したシカ防護ネット柵の総延長が延びるに連れ、風雨によるネットへの倒木等やニホンジカがネット内に侵入したり、ネットに掛って壊す場合が増加したことから、定期的な点検・補修（メンテナンス）作業が欠かせません。

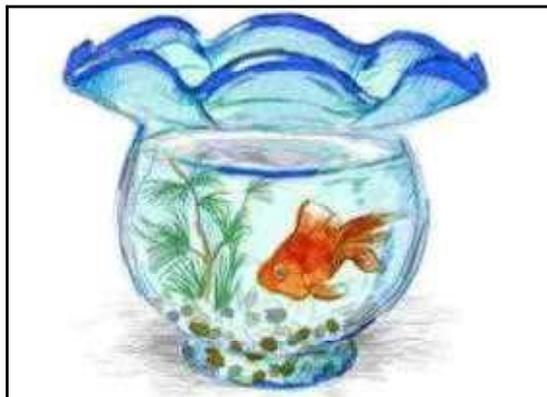
6月15日、滑床山熊の科尔周辺の、風雨によるネットへの倒木で、壊れたネット柵のメンテナンス作業を実施しました。



倒木の処理後



倒木の処理中



林野庁 四国森林管理局
四万十川森林ふれあい推進センター
高知県四万十市西土佐西ヶ方586番地2
電話0880-31-6030 FAX 0880-31-6031



